

令和4年度

事業報告書

特定非営利活動法人 日本BPW連合会

1 事業の成果

令和4年（2022年）度は“New Actions through Cooperation”というBPW Internationalの2021～2024年のテーマに沿って、国内の活動について、統一テーマ SDGs 達成まで8年を切った！サブテーマ：「真のジェンダー平等実現へ、ともに走り続けよう！」を掲げ、引き続きコロナ禍で活動に制限がある中、男女格差解消に向けて全国で様々な活動を展開してきました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【8,188】千円)

定款記載事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
催、書籍の出版に関する事業の形成の促進を図るための広報誌の作成・発行、講演活動、セミナーの開	イコール・ペイ・デイキャンペーン実施 男女の賃金格差を「見える化」する運動。男性の1年分の賃金と同額を女性が手にするには、余計に働かなくてはならない。1年を超えて同額になる日をイコール・ペイ・デイ（EPD）として、HP 掲出・WEB アピール活動、EPD オリジナル付箋配布による啓発や、各地の自治体や関係部署、経済団体等への要望書提出等 国立女性教育会館（NVEC）「男女共同参画フォーラム」におけるオンラインパネル展示	5月1日 他 12月1日～22日	東京他 全国各地 Zoom オンライン	50名程度 8名	全国の女性労働者 フォーラム参加者	不特定多数 不特定多数	99
	イコール・ペイ・デイ全国会議 後援：内閣府男女共同参画局・厚生労働省 政策説明：厚生労働省雇用環境・均等局雇用機会均等課長 石津克己氏 基調講演：「日本の男女賃金格差はなぜ大きいのか：必要な対策とは」講師：お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系教授 永瀬伸子氏 EPD アピールの採択 アピールはHPに掲出し、後日厚生労働省、内閣府男女共同参画局、他関係各所に提出	9月18日	渋谷区 及び Zoom	5名	会員及び一般市民	40名	
	ヤング・スピーチコンテスト 女性が社会的地位を獲得していくために、自分の意見を上手にアピールするスキルを磨く目的で「仕事と私」というテーマでコンテストを実施。（全国大会及び次年度大会の地区予選。4地区のブロック研究会と同時開催）	11月26日 12月3日 12月10日	大阪市 長崎市+ Zoom 甲府市	若干名 若干名 若干名	会員及び市民	34名 54名 25名	120
	表彰・顕彰事業 ・平松昌子賞 ジェンダー平等の実現を目指し長年尽力してきた故平松昌子前理事長の功績を讃え、彼女の業績が大きな灯火となって、ジェンダー平等実現に進む道を照らし続けることを願い、2022年度に「平松昌子」賞を新設、候補者を募集。授賞の対象者は、女性の地位向上とジェンダー平等の実現に向けて貢献してきた人。選考・表彰は2023年度。	3月 - -	オンライン ・メール - -	5人 - -	一般市民 - -	1人 - -	

定款記載事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
	・BPW パートナーシップ・エバリュエーション賞 行政と NGO の協力関係を強化するため、行政の女性政策を評価し表彰。2022 年該当なし						
	GGGI の広報啓発事業 ・セミナー実施 「GGGI 116 位と低迷…～遅れを取り戻せない理由に挑戦！」をテーマに、経済、政治、教育、健康の4分野に関して BPW 会員による基調講話の後、男性2人の特別発言者を招きパネルディスカッションを実施。 ※西日本ブロック研究会にて開催 ・ブックレット発行	12月3日	長崎市+Zoom 全国	若干名 6名	会員及び一般市民	54名 不特定多数	21
	SDGs の広報啓発事業 ・オリジナル SDGs バッジによる普及活動	通年	全国	2名	会員及び一般市民	不特定多数	58
	WEPs(女性のエンパワメント原則)の広報啓発事業 「WEPs 日本連絡会」の構成団体として広報・啓発活動を推進	1月13日	Zoom	2名	全国の企業経営者・一般市民	不特定多数	-
	内閣府男女共同参画推進連携会議への積極的参加、チーム活動 情報発信協力 HP での広報	通年	千代田区	若干名	—	不特定多数	-
	男女共同参画に関する事業全般の管理業務	通年	渋谷区	14名	—	—	424
Iの開催、広報活動に関する事業 (2) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援するための人材教育事業、セミナー	全国大会 ・基調講演 「男女共同参画の視点からの防災について 国の政策・方針等」 ・パネルディスカッション 「50:50 へ前進を！ “災害”の時代のリスクマネジメント 求められるリーダーとは」 ・分科会(ワークショップ)開催 「“災害”の時代のリスクマネジメント」をテーマに経済、政治、教育、防災の4分野で分科会に分かれて討論。(政治のみ Zoom とのハイブリッド) ・東京宣言採択 宣言は内閣府男女共同参画局 6/22、文部科学省 6/29、厚生労働省 7/1 に、訪問のうえ提出し協力を要請	6月4日	東京都及び Zoom	若干名	会員・一般市民	91名	2,555
	ブロック研究会開催 ・国内の5ブロック毎で年間活動テーマに合致した研究会を開催。 ・リーフレットを配布し PR。 ※コロナ禍により、北海道・東北は開催見合わせ、西日本ブロックはハイブリッドで開催した。	11月26日 12月3日 12月10日 2月18日	大阪市 長崎市+Zoom 甲府市 名古屋市	若干名 若干名 若干名 若干名	会員・一般市民	34名 54名 25名 44名	330
	各地域での一般参加の講演会・ワークショップの企画開催	随時	全国	-	会員及び市民	多数	-
	会報発行 活動の報告と、一般市民への広報・啓発ツールとして活用	6月4日	国内外	14名	会員及び関係者他	約400名	581
	ホームページ運営 当会の目的に賛同者を得て、活動を活性化するために、組織内外への広報・啓発としてホームページを運営する	通年	国内外	5名	会員・一般市民	不特定多数	236

定款記載事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
	ニュースレター発行	8月15日 1月20日	全国	5名	会員及び一般市民	不特定多数	68
	BPW 認知度アップ、連帯活動のためのツール頒布、広告掲載 BPW グッズ (日めくり等)の単品及びギフトセット 関連書籍等頒布 SNS (Facebook、Instagram) 等を通じた普及啓発	通年	国内外	5名	会員及び一般市民	不特定多数	2
	渋谷区ふるさと納税を活用した認定 NPO 法人支援事業に参加 指定業者として BPW の活動を紹介し寄附を募った	11月10日～12月31日	全国	2名	会員及び一般市民	不特定多数	—
	女性の能力発揮のための支援呼びかけ・支援メッセージ拡散	通年	国内外	若干名	会員及び一般市民	不特定多数	—
	職業能力開発・広報に関する事業全般の管理業務	通年	渋谷区	14名	—	—	424
(3) IFBPW ※1 に加盟し、目的を同じくする他の国内外の組織との連携を図るための事業	国際 BPW 加盟・連携	通年	—	—	全会員	237名	820
	国連 CSW インターン派遣事業 国連女性の地位委員会 (CSW) にインターンとして国内の国際的な女性の問題に取り組む意欲のあるヤング世代女性を募集し、参加指導 第 67 回 CSW 参加及び協力 パラレルイベント開催 “How to make actions for gender mainstreaming in entrepreneurship.” サイドイベント (日本政府と NGO の共催) への参加	10月～ 3月6日～17日	ニューヨーク及びオンライン	11名 10名	若い女性対象一般公募 会員・一般市民	3名 不特定多数	588
	第 66 回インターン経験者によるワークショップ開催 国立女性教育会館 (NVEC) フォーラムのワークショップに企画参加:「ユースと考えるジェンダーの主流化＝男女平等社会に向けた横断的アプローチ」	12月1日～22日	オンライン	8名	会員およびフォーラム参加者	不特定多数	—
	「平松昌子メモリアル基金」 フィッシュ財団より、2022 年度から 3 年間「平松昌子メモリアル基金」を用途特定寄附として受け、インターン派遣事業のイベント開催補助等に充当	6月14日～	メール・オンライン	14名	会員及び一般市民	若干名	968
	IFBPW 活動 ・ Intercontinental Meeting 参加 ・ 安倍元首相襲撃事件への各国からの弔意への対応 ・ リーダーズサミット参加 ・ クレアファルチャーディナー参加 ・ IFBPW へ IFBPW ウェブサイト上に掲載される日本の情報更新の連絡 ・ 年度初めの APRC*1 と東アジア SRC*2 への活動報告 ・ 四半期毎の APRC と東アジア SRC への活動報告 ・ IFBPW 会計と請求書内容確認に関する交渉 ・ WhatsApp 上で AP Presidents や Young BPW Global 等を通じた海外会員とのコミュニケーション (日本ヤング会員の追加・紹介、CSW イベントの宣伝含む) *1 APRC: Asia-Pacific Regional Coordinator *2 SRC: Sub Regional Coordinator	6月15日 7月中 3月4～5日 3月5日 3月18日 随時	オンライン メール ニューヨーク ニューヨーク メール オンライン	1名 2名 3名 5名 1名 1名	 各国の会員	 各国の会員多数	—
	国際交流 IFBPW 役員、ツィニングクラブ、メンバーとメール等での親交、各国の女性問題等について意見交換	通年	メール・オンライン	—	会員	—	—

定款記載事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
	JWLI 事業協力 ボストンで実施される「日本女性指導者育成(JWLI)事業」及び関連事業の広報活動協力。HP/メール等での情報拡散等	随時	メール・オンライン	2名	会員及び市民	若干名	—
	他団体連携 国際婦人年連絡会や国連 NGO 国内女性委員会、クオータ制を推進する会等に所属し役員として活動、また男女共同参画推進連携会議に議員として参画：国内外の男女共同参画社会形成・推進という目的を共有する団体と連携してイベントの実施や要望書提出、署名活動の協力などを行う。	通年	主に東京オンライン	10名	全国の関係団体所属者・一般市民等	不特定多数	46
	地域団体連携 各地域で活動する他団体との連携や交流：連合会として開催する事業を各都市で開催する際に、地域の女性団体などとも協力して事業を行う。	通年	全国	約30名	団体関係者・会員など	不特定多数	—
	国際・他団体連携に関する事業全般の管理業務	通年	渋谷区	14名	—	—	424
支援事業※2 （4）女性活躍	ネパール支援 ネパール BPW の災害被災者支援事業：支援先選考方法の見直しのため、次年度に繰越し	通年	メール・オンライン	5名	—	—	—
	女性活躍支援に関する事業全般の管理業務	通年	渋谷区	14名	—	—	424

※1 IFBPW=The International Federation of Business and Professional Women

※2 女性活躍支援のための募金及び非営利団体の女性支援活動に対する寄付事業

(2) その他の事業

(事業費の総費用【222】千円)

定款記載事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
①教育・研修事業	ダイバーシティ・エドゥケーター養成講座事業 開講講座（公開例会含） ・ハラスメント対応講座（基礎） ・ハラスメント対応講座（応用） ・伝わりやすいチラシ作成① ・魅力的なプレゼンスキル ・SDGs ゴール5（ジェンダー平等）の基礎と2022年GGGI116位（146カ国中）（2022年7月13日公表） ・産業医から見た職場での多様性のありかた ・生物多様性の問題と会計について ・男女賃金格差の解消に向けて～日本の男女賃金格差はなぜ大きいのか：必要な対策とは～ ・緊急人道支援の現場では～ウクライナ危機対応も含めて ・国や文化を超えて信頼を紡ぐには ・価値創出の着想と実現までのリアル ・地域防災が家族を守る ・男女格差解消を目指して（GGGI） ・働く環境づくり～社員の成長が企業成長の原動力 ・児童養護施設の子どものために「おっちゃんは君らの未来をあきらめへん」 ・リスクマネジメントとダイバーシティ	7月30日 7月31日 8月17日 8月27日 8月28日 9月3日 9月9日 9月18日 10月4日 10月15日 11月29日 12月1日 12月3日 1月11日 2月21日 2月23日	Zoom	6名	会員・一般市民	延べ77名	214
	ダイバーシティ・エドゥケーター資格認定事業 申請審査・認定業務	5月15日	オンライン	10名	会員・一般市民	1名	8